【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【公表番号】特表2013-524545(P2013-524545A)
【公表日】平成25年6月17日(2013.6.17)
【年通号数】公開・登録公報2013-031
【出願番号】特願2013-504150(P2013-504150)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　21/683　　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　21/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　21/68　　　N
Ｈ０１Ｌ　21/02　　　B

【手続補正書】
【提出日】平成25年5月14日(2013.5.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
接合層(6)によって製品基板(4)に連結されたキャリア基板(2)から前記製品基板(4)を剥離する装置であって、
フィルム枠(1)と、
前記フィルム枠(1)に連結された可撓性フィルム(3)であり、前記フィルム(3)の接触表面区画(3k)において、前記製品基板(4)を保持する接着層(3s)を有し、前記接触表面区画(3k)を取り囲む、前記フィルム(3)の取付け区画(3b)において、前記フィルム枠(1)に連結された可撓性フィルム(3)と、
前記溶剤(22)を前記溶剤貯留部(20)に送達する送達手段(23)と、
前記キャリア基板(2)から前記製品基板(4)を剥離する剥離手段と、
を備え、
前記接合層(6)を分離するための溶剤(22)を保持する溶剤貯留部(20)であって、前記製品基板(4)及び前記接合層(6)を収容することができる溶剤貯留部(20)が、前記フィルム枠(1)と、前記フィルム(3)とによって、形成されることを特徴とする、装置。
【請求項２】
前記溶剤貯留部(20)が変動可能な容量を有する、請求項1に記載の装置。
【請求項３】
前記溶剤(22)が、前記接合層(6)を少なくとも部分的に分離するように、前記接合層(6)を選択的に溶解させる流体手段を備える、請求項1または2の一項に記載の装置。
【請求項４】
前記溶剤貯留部(20)が、前記溶剤(22)が少なくとも前記接合層(6)の分離開始時に、特に前記製品基板(4)の周辺部(4u)領域だけに作用するように形成される、請求項1から3の一項に記載の装置。
【請求項５】
前記剥離手段が、前記キャリア基板(2)に対して作用する力Fsと、前記フィルム枠(1)に対して作用し、かつ前記力Fsに対向する力Ffとを生じるように形成される、請求項1から4の一項に記載の装置。

【請求項６】
前記フィルム(3)が、特に前記力Fsおよび力Ffによって、前記接触表面区画(3k)と、前記取付け区画(3b)との間に位置する剥離区画(3a)において把持することができる、請求項1から5の一項に記載の装置。
【請求項７】
前記溶剤(22)および/または前記接合層(6)に作用し、特に前記フィルム(3)に隣接して、かつ/または前記溶剤(22)中に配置することができる振動発生器(10、10')がある、請求項1から6の一項に記載の装置。
【請求項８】
前記剥離手段が、前記製品基板(4)の前記周辺部(4u)から、前記製品基板(4)の中央部(4z)へと同心状に作用するように形成される、請求項1から7の一項に記載の装置。
【請求項９】
前記溶剤貯留部(20)が、溝形に形成される、請求項1から8の一項に記載の装置。
【請求項１０】
接合層(6)によって製品基板(4)に連結されたキャリア基板(2)から前記製品基板(4)を剥離する方法であって、
フィルム枠(1)と、前記フィルム枠に連結された可撓性フィルム(3)とによって形成され、前記接合層(6)を分離するための溶剤(22)を保持する溶剤貯留部(20)を形成する段階と、
前記製品基板(4)、および前記接合層(6)を、前記溶剤貯留部(20)中に保持する段階と、
前記溶剤(22)を前記溶剤貯留部(20)に送達する段階と、
前記キャリア基板(2)から前記製品基板(4)を分離する段階と
を含む、方法。
【請求項１１】
前記溶剤(22)を用いて、前記接合層(6)によって生じる、前記キャリア基板(2)と、前記製品基板(4)間の連結を少なくとも部分的に分離する、請求項10に記載の方法。
【請求項１２】
前記溶剤(22)が、少なくとも前記接合層(6)の分離開始時に、特に前記製品基板(4)の周辺部(4u)領域だけに作用する、請求項10または11に記載の方法。
【請求項１３】
分離が、前記キャリア基板(2)に対して作用する力Fsと、前記フィルム枠(1)に対して作用し、かつ前記力Fsに対向する力Ffとによって行われる、請求項10から12の一項に記載の方法。
【請求項１４】
前記製品基板(4)の分離が、前記製品基板(4)の前記周辺部(4u)から、前記製品基板(4)の中央部(4z)へと同心状に行われる、請求項10から13の一項に記載の方法。